



街と歩む、街を支える。

丸の内熱供給株式会社

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ

2024年12月18日

報道各位

丸の内熱供給株式会社

「カーボンオフセット熱メニュー」2025年4月から提供開始

丸の内エリアにおいて熱由来のCO₂排出量がゼロとなる新たな熱メニューを導入！

丸の内熱供給株式会社^{※1}は、オフセットクレジットや非化石証書によりCO₂がオフセットされた「カーボンオフセット熱メニュー」の提供を、2025年4月より開始いたしますのでお知らせいたします。

本メニューをお選びいただくことで、地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、温対法)における「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」(以下、SHK制度)ならびにエネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律(以下、省エネ法)における定期報告書において、2025年度分実績報告より、事業所で使用する熱由来のCO₂排出量をゼロとして報告することが可能になります。

当社は今後も環境性の高い取り組みや低・脱炭素化の手法をリサーチし続け、社会のニーズに応える熱メニューの検討を続けてまいります。

■ メニュー導入の背景

2024年4月にSHK制度が改正され、熱の事業者別ならびにメニュー別排出係数の公表が可能となり、当社においても2024年6月に一律の省令値より約15%低い排出係数を公表しました。

更に、熱の脱炭素化に係るお客さまニーズの高まりを受け、また当社としても経営ビジョンである「MARUNETU VISION2030」を推進するため、2025年度よりSHK制度等での報告における熱由来のCO₂排出量がゼロとなる当メニューを策定いたしました。(表1)

■ メニュー概要

当社では、主に都市ガスと電気を用いて「熱」(冷水・蒸気等)を製造しています。製造した熱は地域冷暖房^{※2}のネットワークを通じて、お客さまへ供給しています。当メニューをご契約いただいたお客さまにつきましては、年間使用熱量に対応するCO₂排出量を当社で算定し、必要なクレジットや非化石証書を調達の上、オフセットした熱として供給いたします。(図1)

＜改正前と改正後の熱の排出係数＞

改正前	改正後(2024.4～)	
一律の 排出係数 0.057t-CO ₂ /GJ	一律の排出係数	0.0532 t-CO ₂ /GJ
	事業者別調整後排出係数 (2024年度報告における当社排出係数)	0.0451 t-CO ₂ /GJ
	メニュー別排出係数	- t-CO ₂ /GJ

2025年度より導入する係数
0.0000 t-CO₂/GJ

表1-熱の排出係数

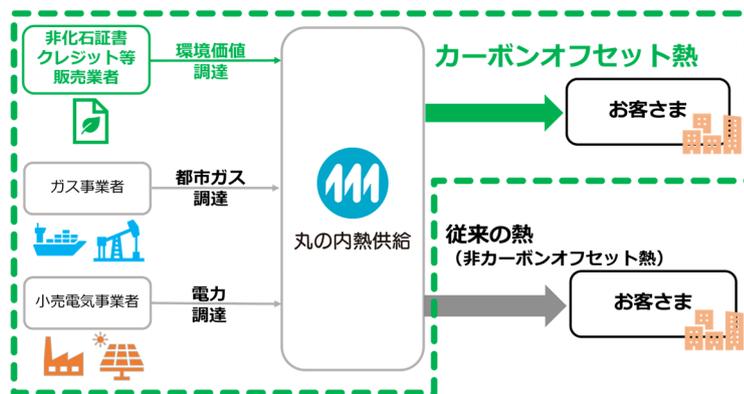


図1-カーボンオフセット熱 供給フロー

報道関係の方のお問合せ先

丸の内熱供給株式会社 人事総務部 広報担当 TEL:03-6262-3775(代表)

お客さま向けお問合せ先

丸の内熱供給株式会社 開発営業部 TEL:03-6262-3718(代表)

■ 参考情報

- ・ 環境省-地球温暖化対策推進法と地球温暖化対策計画
<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/domestic.html>
- ・ 環境省-温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度
<https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/>
- ・ 経済産業省資源エネルギー庁-省エネ法の概要
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/overview/
- ・ 経済産業省資源エネルギー庁-工場・事業場の省エネ法規制
https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/enterprise/factory/report/index.html

■ 丸の内熱供給による環境負荷低減の為の取り組み

- ・ 環境レポート 2024
<https://www.marunetu.co.jp/pdf/20240930.pdf>
- ・ 経営ビジョン「MARUNETU VISION2030」
<https://www.marunetu.co.jp/vision2030/index.html>

街の力を、
地球の力に!

～街と歩む 街を支える～
大手町・丸の内・有楽町エリアのエネルギー環境を支えて 50 年
世界に誇る進化を続けるエネルギーネットワーク

- ※1. 丸の内熱供給株式会社: 1973 年に三菱地所株式会社をはじめとするエリア内の地権者(設立時 20 社)が中心となって設立され、1976 年に地域冷暖房プラントから熱供給を開始以来、大手町・丸の内・有楽町エリア(以下、大丸有エリア)の進化と共にエネルギーネットワークを整備(拡張・高度化・効率化)し、約 50 年に亘って 24 時間 365 日、日本経済の中枢のビジネスエリアを支え続けています。現在では大丸有エリアを中心に、ビル 72 棟・地下鉄 18 駅舎・12 施設の約 721 万㎡に冷暖房用の熱を供給しています。
- ※2. 地域冷暖房: プラントで製造した冷水・蒸気等を地下トンネル(洞道)を通じて複数の建物群に供給して冷暖房を行うシステムです。大丸有エリアの殆どのビルは当社から供給される冷水・蒸気等で冷暖房を行っています。地域冷暖房システムは 1970 年に大阪で開催された日本万国博覧会で日本に初めて導入されました。



SUPER TUBEとは

当社では大丸有エリアの洞道および配管ネットワークを総称して「SUPER TUBE」と名付けました。この「SUPER TUBE」をエリアの強みの一つとして積極的なPR展開をしています。

MARUNETU VISION 2030



脱炭素社会へ
リードする
新しい丸熱へ

<p>GROUP MISSION</p> <p>私たちは、まちづくりを通じて 社会に貢献します</p>	<p>MARUNETU VISION</p> <p>『Beyond DHC!』 脱炭素社会へリードする 新しい丸熱へ</p>
<p>VALUE</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 更なる強靱化 追いつけない エネルギー供給 ▶ 省エネルギー 地域冷暖房のネットワーク だからこそ実現できる最高 水準の省エネルギー性 ▶ 環境価値 低・脱炭素化先進地域 大丸有の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ エリアへの貢献 エネルギーについて ワンストップで充実した サービスメニューと技術力 ▶ 共創 三菱地所グループ内外の パートナーと共創し、 低・脱炭素化社会を実現